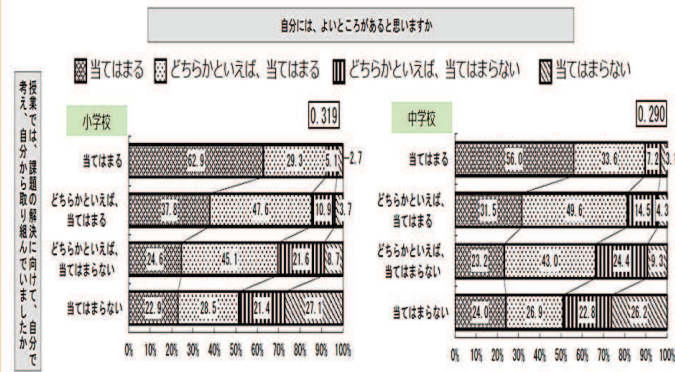
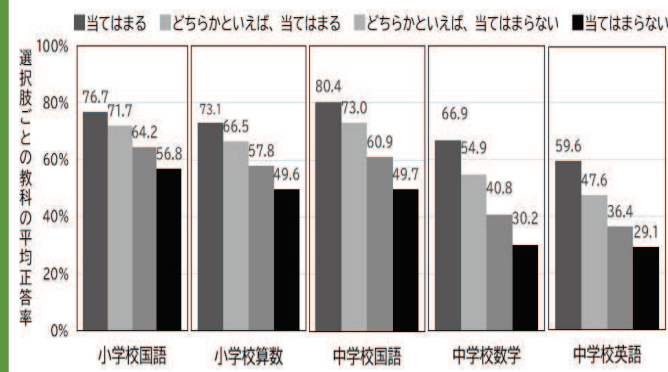


## 「主体的・対話的で深い学び」や「個別最適な学び」の影響

【課題の解決に向けて自分から取り組んだ】×【自分にはよいところがあると思う】



【課題の解決に向けて自分から取り組んだ】× 各教科の平均正答率

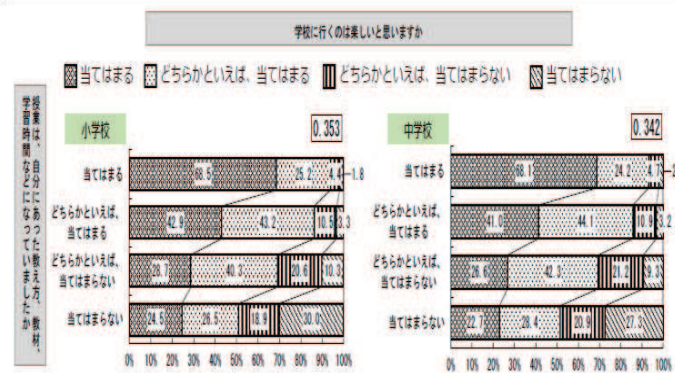


「令和5年度 全国学力・学習状況調査－結果の概要－」(石川県教育委員会)より

令和5年度全国学力・学習状況調査の結果より、主体的に学習に取り組んでいる子供たちの方が、教科の平均正答率が高く、自己有用感も高いという傾向が見られました。

また、「自分に合った考え方、教材、時間」で個別最適な学びに取り組んでいる児童生徒の方が、「学校に行くのが楽しい」と感じていることも分かっています。

【自分にあった授業】×【学校に行くのが楽しい】



「令和5年度 全国学力・学習状況調査の結果」(文部科学省)より

授業を構想するときには、「どんな学習形態で、どんな学習活動を設定するか」を考える前に、まずは、「この単元でどんな力(教科等の資質・能力と、教科等横断的な視点に立った資質・能力)を付けたいのか」を明確にしましょう。育成すべき資質・能力を明確にした後で、「単元の、どの時間に、どんな学習活動を通してその力を付けるのか」等について考えることが大切です。

**教科等の資質・能力を育むとともに、子供たちが課題解決に向けて自己決定したり、試行錯誤したりする場面を意図的に設定し、子供たちの「自己調整力」も育てていきましょう！**



## 「令和の日本型学校教育」の実現に向けて

### 県の学力向上の重点を踏まえた授業づくりのポイント

#### 令和6年度 石川県の学力向上の重点

「個別最適な学び」と「協働的な学び」を一体的に充実させた「主体的・対話的で深い学び」の実現

#### 資質・能力の育成

#### 主体的・対話的で深い学び

教科等の見方・考え方を踏まえた共通の軸の下、一体的に充実

#### 個別最適な学び(指導の個別化、学習の個性化)

#### 協働的な学び

◎子供たち個々を理解して関わりながら、ねらいに迫るための工夫

◎子供たちから引き出した多様な考えを生かしながら、ねらいに迫るための工夫

#### 【学習指導のポイント】

・子供たちが多様な考え(ねらいに沿った考え(O)だけでなく、不十分な考え(△・×)や、分からない(?)等も)を言える授業づくりを工夫する  
・ねらいに沿って、子供たち個々の達成状況を丁寧に見取り、興味・関心・意欲等を踏まえてきめ細かく指導・支援する

#### 【学習指導のポイント】

・子供たちが学び合いを通して多様な考えに触れる中で、「分かった！そういうことか！」を実感できる授業づくりを工夫する  
・子供たちの学びが深まるよう、子供たちの多様な考えを生かす仕掛けを工夫する

#### 【学級経営・生徒指導のポイント】

・子供たちの成長やつまづき、悩みなどの理解に努める  
・子供たちそれぞれのよさを認めて、活躍の場を設ける

#### 【学級経営・生徒指導のポイント】

・子供たちがそれぞれのよさを認め、それを手本(モデル)にすることができるような仕掛けを工夫する

自己調整力

【GIGAスクール構想】ICTの効果的な活用

#### 育成すべき資質・能力

【新しい時代に必要となる資質・能力】

#### 教科等の資質・能力

- 生きて働く「知識・技能」
- 未知の状況にも対応できる「思考力・判断力・表現力等」
- 学びを人生や社会に生かそうとする「学びに向かう力・人間性等」

#### 教科等横断的な視点に立った資質・能力

- 学習の基盤となる資質・能力  
言語能力、情報活用能力、問題発見・解決能力等
- 現代的な諸課題に対して求められる資質・能力

令和6年4月  
石川県教育委員会

※各ポイントの番号は、授業チェックポイント例の番号と対応しています。  
 (1単位時間だけではなく、単元全体を捉えた学びにおける働きかけを含みます。)

## 県の学力向上の重点を踏まえた授業づくりのポイント

授業チェックポイント例		
①	課題（の内容・表現）は、目の前の子どもたちの実態に合い、意欲が高まるものになっていますか？	<input type="checkbox"/>
②	課題解決に向けて、子どもたちが見通しをもてる（予想や計画が立てられる）ような工夫をしていますか？	<input checked="" type="checkbox"/>
③	45（50）分間の効果的な時間配分を常に意識して進めていますか？	<input checked="" type="checkbox"/>
④	個の考えをもつ時間や場を設定して、学び合いにつなげていますか？	<input checked="" type="checkbox"/>
⑤	ペア学習・グループ学習では、子どもたちが必要感をもって取り組めるようなしかけをしていますか？	<input checked="" type="checkbox"/>
⑥	互いによく聴き合い、返事や反応をしっかりとするように指導していますか？	<input type="checkbox"/>
⑦	本時のポイントが分かる見やすい板書や、効果的な教具の工夫をしていますか？	<input type="checkbox"/>
⑧	キーワードを明確にした「まとめ」、変容を自覚させる「振り返り」をノート等に明記させていますか？	<input checked="" type="checkbox"/>
⑨	評価の場では、子どもたち個々の姿を的確に見取っていますか？	<input type="checkbox"/>
⑩	「付けたい力」について適切に評価し、次の指導に活かしていますか？	<input type="checkbox"/>

『学習意欲』のさらなる高まりを目指して～『主体的・対話的で深い学び』の実現に向けた授業改善  
 (H31.3 石川県教育委員会作成リーフレット) より  
 ※スマートスクールネット内「学力向上プログラム」にも掲載しています

### ② 課題解決の見通しがもてる工夫

◇ 活動の見通しではなく、子供たちが解決の見通しをもてる工夫を

この時間の活動について、進め方を説明しますね。まずはこれらの資料から分かることをそれぞれ書き出しましょう。それが終わったら、グループで持ち寄り話し合いを行います。それぞれの資料から読み取ったことをもとに、この課題について考えて、...

**× 活動手順の説明のみ**

◇ 既習内容や思考ツールなど、解決に向けて子供たちが自己決定できる手立てを準備

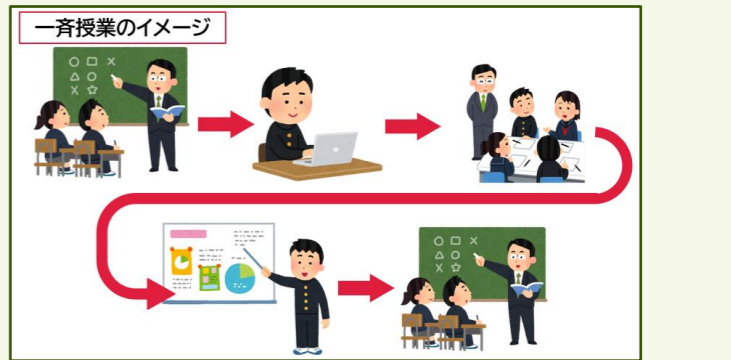
これまでに学習した思考ツール

**自己決定**

表を使って情報を整理していただくと、考えがまとまらないな。前の授業で使った「ピラミッドチャート」で整理し直してみようかな

### ③ 効果的で柔軟な時間配分

◇ 単元全体を見通した授業の組み立てを（どんな力を付けるか→そのために単元のどこでどんな学習を行うか）



単元の中のどこで、一斉授業や「子供に委ねる場面」を設定して、教科の資質・能力の定着や「自己調整力」の育成を図るか……

◇ 子供たちが試行錯誤し、失敗から学べるような場を意図的に設定

### ④ 個に応じた指導の工夫

◇ 全ての子供たちの可能性を引き出すための手立ての準備（C→Bの手立てだけでなく、B→Aの手立ても）

- どんな手立てを？
    - ・ヒントカードや参考資料などを、子供たちの端末に送付
    - ・ループリックを作成して、子供たちと共有
    - ・子供たちが選択できるような難易度別の適用問題を準備
    - ・チャレンジ課題やジャンプアップ課題の提示 など
  - どのタイミングで？
    - ・端末を活用して、子供たちの学習の進捗状況をリアルタイムで把握 → 必要な支援を、必要な子供たちに
    - ・ABCそれぞれの層の子供たちを想定して、三通りの指導の流れを示した本時案を作成 など
- (参考) 「令和5年度 全国学力・学習状況調査 報告書 小学校 国語」授業アイデア例 (p48~52) 参照



◎どんな状況の子供に、どう支援するかを、事前に決めておいた上で、全員の学習状況を個々に見取り、必要な子供に必要な支援を行いましょ

### ⑤ ペア・グループで必要感をもてるしかけ

◇ 目的を明確にした上で、グループ構成を意図的にコーディネート  
 「考えを深めさせたい」→ 同じ考えの人同士で  
 「考えを広げさせたい」→ 違う考えの人同士で など

あなたと同じ叙述を根拠として取り上げているのに、違う考えを書いている人がいますよ。なぜそういう考えになったのか、話を聞きに行ってみてはどうか

本当だ！ どうしてそう考えたのか知りたいな

教師のコーディネートや、子供たちによる相手の選択には、端末の活用が有効です

◇ 「共通の軸」を踏まえた課題設定や深めの発問

グループで話し合って、一番よい方法を決めましょう

グループで話し合って、一番少ない手順で求められる方法を決めましょう

グループで話し合って、みんなの考えた方法に優先順位を付けましょう。なぜその順位にしたのか、どんな観点で順位を付けたのか、あとで説明もしてください

×「よい」の基準が人によって違うので、軸が定まらない

○見方・考え方を働かせた共通の軸がある → ねらいに沿った話し合いができる

### ⑧ キーワードや目的を明確にした「まとめ」、「振り返り」

◇ 「課題」と整合した「まとめ」を（「問題」に対する「答え」や、「実験」に対する「結果、考察」を、「まとめ」と混同しない）

課題  
 ゴムをのばす長さを変えると、ものを動かすはたらきはどのように変わるのだろうか

「まとめ」は、「ゴムを伸ばす長さが長い車の方が動く距離は大きい」です

×「実験」に対する「結果」であって、「課題」と整合した「まとめ」にはなっていない

◇ 振り返りの目的を明確に  
 ・今後の学習に生かしたい  
 ・学習内容だけでなく、学び方についても自覚させたい など